

全疾患対症穴鍼灸セミナー 2018.2/22 (木)

一般社団法人律動法協会主催

半身症候鍼灸研究会

会場：神奈川労働プラザ第5・6会議室 JR 根岸線・石川町駅北口徒歩3分

時間 17:15 ~ 19:45 受講料：5,000 円 参加資格：鍼灸師、鍼灸学生、医師

鍼灸効果の見直し！ 鍼はここまで治る 膨大な鍼灸理論であっても、治らない理論は誤りである

真の刺鍼法は全身組織対象の選穴治療である。しかし、鍼灸師が誰でも、各疾患に今から著効を上げられる選穴法がある。その選穴法を公開！ 治療理論がなくても、組織の正常・異常の診断法があればここまで治る。鍼灸理論の学習は、鍼が治ることを知ってから…

セミナー内容

1. 各疾患対症治療穴

- ①完骨又は大杼による、五十肩、腱鞘炎、難聴の完璧刺鍼法：左右側、方向、深度。
- ②犢鼻による眼科疾患、白内障、緑内障、網膜色素変性、斜視、飛蚊症、黄斑変性、視力低下の刺鍼法：左右側、方向、深度。
- ③百合による婦人科疾患（子宮筋腫、内膜炎、卵巣嚢腫、不妊症、卵管狭窄、逆子）、腎臓炎、膀胱炎。男性不妊症（精巣、精管、精嚢）。

2. 人体組織、正常・異常の確実な鑑別法。各症状の最大原因鑑別法、因果関係検出。

3. オープンクリニック：参加者及び、随伴患者の治療公開。

鍼灸の適応症と言う。生体に治癒力があるのになぜ鍼灸は全疾患に有効でないと言うのか？

西洋医学は特定疾患別の薬物治療である。鍼の作用は生体全体に連関する治癒機構に波及するものである。正しい鍼灸は全身同時治療である。しかし、その前に一穴で多種疾患を治せることを知らねばならない。

時間の制約上、全疾患別完璧一穴刺鍼法の一部を公開する。

鍼治療の特性

近年の鍼灸臨床の多くは、長時間の置鍼をする。その時間は生体の治癒に要す時間なのか？それをどのように知るか？ 刺鍼後生体は2秒で全身の血液循環が改善し、頭部から足部まで温かくなっている事実を知っているのか？ 少なくとも、正しい刺鍼は1分で治療効果が出るものである。

鍼灸はいつから治らなくなったのか？

その元凶は素問・靈樞にあり！

文字化できないものは抹消された。

鍼灸は大部分の疾患が原因不明の現代西洋と治せないことで肩を並べる医療であってはならない！

治る鍼灸とは？西洋医学は喘息、椎間板ヘルニア、へバーデン結節も治せない。西洋医学と同等効果の鍼灸…医師、鍼灸師の役目は何か？人体はいずれも一瞬にして回復する能力があるが、西洋医学、鍼灸は治せない。多疾患にわたる限界がある西洋医学追従の鍼灸のエビデンス指向より無効有害の多くの手術で苦しむ人々を救う鍼灸は必要ないのか？ 鍼灸師に問う！

胃、心臓、腎臓、肝臓、脳、婦人科臓器の炎症部位、炎症状態を診断できない鍼灸。四肢の痛みの原因を診断できない鍼灸。疼痛部位とその原因を診断できない鍼灸。回復状況を診断できない鍼灸。それでは何を治したか分からない。

従来鍼灸に存在しない異常・正常判定法は正しい筋肉反射テストにある。0リングテスト、入江FTの欺瞞。

